

大野東市民センター

令和 6 年度の取組方針及び 実施計画の取組状況

令和 7 年 3 月 2 4 日（月）

第 3 回大野東市民センター企画運営委員会

報告の内容

- ①令和6年度の事業方針
- ②令和6年度の事業報告
- ③大野地域全体での取組
 - ・なんにもしない合宿inおおの
 - ・学びの充実のための市民アイデア募集
- ④成果と課題 ～令和7年度に向けて～

①令和6年度の事業方針

重点施策	取組の方向性
「こどもが主役のまち」 の実現への寄与	・ こどもが健やかに育つための、学び、体験、居場所など、場や機会を提供する。 ・ 子育て世代が安心して子育てに向き合うことができるよう、必要な学びと対話の機会を提供する。
対象区域内の多様な主体 との連携	・ 異業種とのつながりづくり、事業への参画促進 ・ 支所、他市民センター、市社協、小・中学校、子育て支援センターなど、関係機関と日常的に情報を共有、ときに連携して事業を実施する。 ・ 大野第1区～第4区のニーズ把握や課題の共有
誰もが訪れたくなる施設 内環境づくり	・ 貸室以外の施設内空間を最大限に活用、地域の憩いの場として、どの世代にも親しまれる雰囲気づくりに取り組む。

②令和6年度の事業報告（上半期）

	7月	8月	9月	10月	11月
主催・共催 事業	○夏休みこども体験 EXPO2024 ○大野東市民センター メンバーシップの活動	○親子で一緒に学ぼう！ 防災実践講座	○被災体験から学ぶ「命を守る日ごろの備え」 ○こどもの居場所	○認知症サポーター 養成講座（避難所での心がけ）	----->
事業以外の 取組	★自習室開放 ★図書コーナー 児童書・絵本貸出し	----->	----->	----->	----->
登録クラブ 活躍支援	▼夏休みこども体験2024への参加 ▼クラブ活動体験会（2クラブ開催）	▼登録クラブ・コレクション展	----->	----->	----->

②令和6年度の事業報告（下半期）

	1 1 月	1 2 月	R 6 . 1 月	2 月	3 月
主催・共催 事業	●学んでみよう！介護のこと（全4回） ●なんにもしない合宿inおおの（11月、1月、3月）		●子育て応援セミナー「もうすぐ小学生！」 ●出張市民センター in ORYZA ●フレイル予防（支所健康福祉係共催）		
事業以外の 取組	★メンバーシップ募集 ★自習室開放				
登録クラブ 活躍支援	▼自主学習グループの活動、運営に関する相談対応 ▼登録クラブ・コレクション展～	▼令和6年度クラブ登録受付開始～			

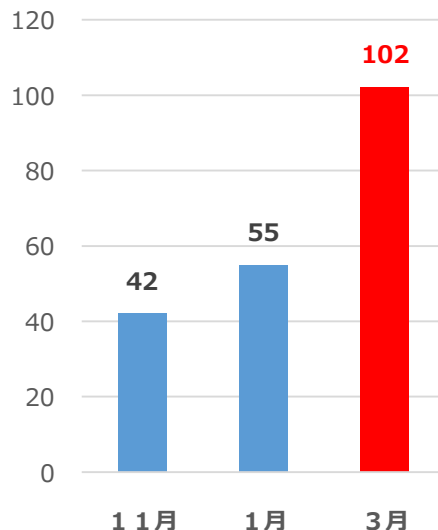
③大野地域全体での取組

- ・ なんにもしない合宿inおおの (支所・市民センター合同事業)
(11月、1月、3月開催)

【学習目標】

- ・ 地域内の児童の主体性や自発性を育むきっかけとし、児童同士の交流や関わりを生み出す。
- ・ 地域内の大人が、事業をととして地域に関心を持つとともに、大人同士の交流や関わりを生み出す。
- ・ 地域内の児童と大人が交流し、関わりをつくることで、児童の地域への愛着形成に寄与するとともに、緊急時における地域セーフティネットの基礎とする

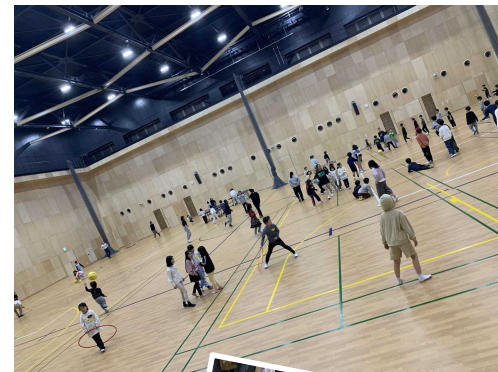
(こどもの参加人数)



(大人スタッフの人数)

開催月	人数
11月	11人
1月	12人
3月	14人

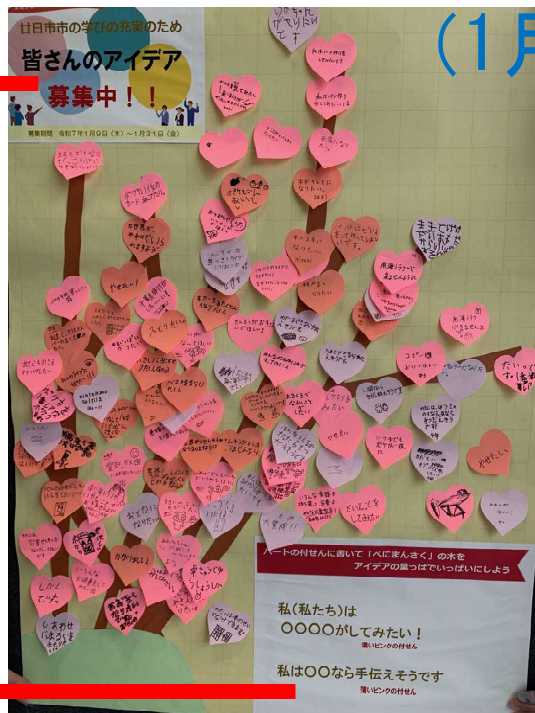
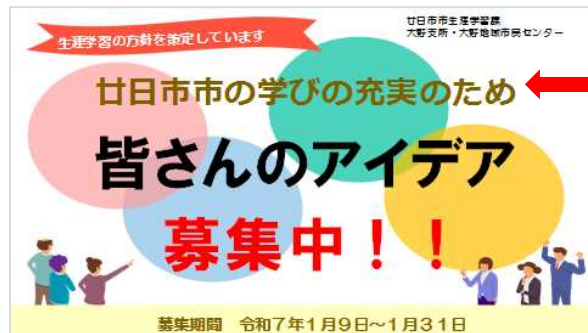
3月14日（金）～3月15日（土）の様子（3回目の開催）



③大野地域全体での取組

・ 学びの充実のための市民アイデア募集

(1月9日～1月31日)



【ねらい】

これからの時代にあった生涯学習の役割や学びやすい環境づくりについて、市民と一緒に考える機会を提供した。

【アイデア募集の方法】

まるくる大野へ「意見聴取パネル」を設置し、利用者に付せん記入、貼付けを促した。

③大野地域全体での取組

学びの充実のための市民アイデア募集【やってみたいこと】

ジャンル	ポストイットの意見 ※一部抜粋
スポーツ・運動	ドッジボール大会／バスケットを習いたい／バドミントンの全国大会まで行きたい／老若男女が楽しめる運動会
音楽・ダンス	トランペットをやってみたい／いろんな楽器を持ち寄って合奏、みんなで自由参加できる音楽会／ダンスバトル大会をやってほしい／ダンスを習ってみたい／ダンスが上手くなるコツを教えてもらえるイベントがほしい
料理・食べ物	くだものがいっぱい食べられるイベント／給食を作ってみたい／いろんな料理をしてみたい
友達・交流	友達が増えるとうれしい／友達を多くしたい／みんなと遊びたい／みんなで劇をしたい
学び・体験	図書室の本を全制覇したい／本をたくさん読みたい／お仕事体験をしてみたい／まるくで習い事がしたい／友達と一緒に勉強したい／自分たちがつくったマンガ、絵本を図書館に飾ってほしい
平和・社会貢献	日本を救いたい／日本がいつまでも平和でありますように／日本を守りたい／世界を平和にしたい
季節イベント・お祭り	ハロウィン、クリスマスにゲームやお菓子を食べたりできるイベントがほしい

★「多様な楽しみ」や「学びの場」を求める声

★「体験」や「みんなでやること」を重視

④成果と課題 【取組の成果Ⅰ】

➤ 継続的な事業展開による定着化

- 月2～3回の主催事業を実施、「いつも何かが開かれている場」として定着しつつある。
- 定期事業が日常化
(助産師相談室、スマホ＆PC相談会、絵本読み聞かせ、こどもの居場所、司法書士相談)
- 継続的な主催事業から自主活動グループが誕生

④成果と課題 【取組の成果Ⅱ】

➤ 地域人材との新たなつながりの拡大

- 母子保健推進員、親プロ、社協、医療・福祉機関など多様な主体との連携が拡大。
- 市民センター外での「出張市民センター」を実施し、学びと居場所づくりを広げる。
- 他の市民センターや大野支所との協力による新たな事業を展開（「なんにもしない合宿」「フレイル講座」）。

④成果と課題 【取組の成果Ⅲ】

➤ 市民の主体的な活動の促進

- メンバーシップの「やってみたい」を実現し、事業企画や講師として関わる人材を創出（笑いヨガ、ライブキッチン、経験を生かしたお話会、大人向け絵本読み聞かせ、筆遊びなど）。
- 連続企画（2～4回）を通じて、学びを日常生活に生かす流れを形成。
- 地域課題（例：こども食堂）について事業をきっかけに解決に向けた動きを生み出す。

④成果と課題【今後の課題・改善点Ⅰ】

□ さらなる市民の主体的な参加の促進

- ✓ 事業企画や講師として関わる人材が生まれているが、より多くの市民が主体的に活動できる仕組みが必要。
- ✓ すでに関わっている人に負担が集中しないよう、継続的に新しい担い手を育てる工夫が求められる。
- ✓ 登録クラブが対象区域内で自主活動の成果を発揮し、地域の学びや場づくりに還元する機会を増やす。

④成果と課題【今後の課題・改善点Ⅱ】

□ 多様な世代へのアプローチ

- ✓ 定期事業の多くが子育て世代向けのため、若者や高齢者など幅広い世代が参加しやすいプログラムの充実が課題。
- ✓ 「フレイル講座」など高齢者向けの取組はあるが、より多世代交流につながる場づくりが必要。

④成果と課題【今後の課題・改善点Ⅲ】

□ 事業の継続性・発展性の確保

- ✓ 連続企画（2～4回）を通じて学びを深める仕組みはあるが、さらに長期的な関わりが生まれる工夫が必要。
- ✓ 体験型の企画を「体験だけで終わらせず、アウトプットの時間をつくる」ことで、学びをより定着させる。

④成果と課題【今後の課題・改善点Ⅳ】

□ 地域課題へのアプローチの強化

- ✓ 「こども食堂」のように事業をきっかけとした地域課題解決の動きが生まれているが、今後はより多様な課題にも取り組めるような仕組みが必要。
- ✓ 地域の課題を掘り起こし、具体的な解決策を市民と一緒に考える場を増やしていく。

④成果と課題【今後の課題・改善点Ⅴ】

□ 申し込み・参加の仕組みの改善

- ✓ WEB申し込みは手軽だが、連絡なしの欠席が一定数あるため、改善策を検討。
- ✓ 参加者が「参加してみたい」と思えるようなタイトルや呼びかけ文を工夫し、より多くの人に興味を持つ呼びかけが必要。
- ✓ アナログとデジタルを組み合わせたさまざまな媒体を活用した段階的な告知によって、より多くの人に繰り返し情報を届ける。

④成果と課題【今後の課題・改善点Ⅵ】

□ より広い範囲での連携・発信

- ✓ 他の市民センターや支所との連携が始まったが、さらに地域外や他団体とのネットワークを広げることで、学びの機会を増やし、相互の強みを活かせる可能性がある。
- ✓ 市民センターの取組を広く発信し、より多くの人に知ってもらうことで、新たな参加者や協力者を増やすことができる。